



第3回

(2.6~2.10)

AJ科 宮川 治

【キャメルケース】

- (アッパー)キャメルケースとは、複合語をひと綴りとして、二つ目以降の要素語の先頭を大文字で書き表すこと。複合語の要素数が一つでも下記のルールに従うものとする。
 - 一つ目の要素語の先頭が大文字：アッパーキャメルケース
 - 一つ目の要素語の先頭が小文字：キャメルケース

命名規約(コーディング規約)1

- 識別子に一貫性を持たせることにより、可読性を高めることができる。
 - クラス名
 - アッパーキャメルケース: 複合語の先頭を、大文字で書き始める。
 - メソッド名
 - キャメルケース: 複合語の先頭を、小文字で書き始める。単にキャメルケースと言えば先頭は小文字。

命名規約(コーディング規約)2

- 変数名
 - キャメルケース:複合語の先頭を、小文字で書き始める。
- 定数名
 - スネークケース+大文字:アンダーバー(`_`)を区切記号として要素語をつなげる。要素は全て大文字。

概要

- ファイルからの読み込み
 - テキストデータ
 - 文字コードのデフォルト(初期値)はUTF-8
 - バイトデータ
 - 文字コードを指定してテキストに変換